

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31年 1月 19日

事業所名「きらり」新越谷校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			カーテンで視野が散漫にならないように工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			毎週シフトを決め、固定にならないようにしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			場所を確保し、動きやすいように工夫をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			毎週ミーティングを行い、PDCA サイクルを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			アンケートを実施し、情報共有の場を設けている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページにて公開をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			発達支援研究所と連携し業務にあっている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			事業所内研修・事例検討会を行い、機会を確保している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			アセスメントを活用し、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			アセスメントツールを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			ミーティングで情報の共有を図っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			同じものにならないように、毎朝プログラムの確認を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			本人の課題と向き合い、時期によってプログラムを変更している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			月に1度小集団を実施し、個別で支援したものが力になっているか確認をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			前回のような活動ができたか確認をし、本日の活動プログラムを作成している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		支援数が多い為、次の日の朝から打ち合わせを行い、気づいた点を共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			記録の見直しを行い、改善に生かしている。

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			3カ月に1度、モニタリングを実施し、計画の見直し・必要性を判断している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			ガイドラインをもとに支援の実施を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			毎週確認を実施し、時間のミスがないように行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			必要な対応や、薬の確認を必ず行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			情報を提供して頂ける場合、相互理解に努め、お話を場を設けている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			学校・保護者が求める場合、支援内容の情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			情報を頂ける場合、助言の機会を大切にしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	地域の活動に積極的に参加し、今後幅を広げたいと考えている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	機会がある場合、今後参加を考えている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援終了後、本日の活動内容や現在お困りの事を確認し、現在の課題について共通理解に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後小集団に取り入れ、ペアレントトレーニング等の支援を行いたいと考えている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に、重要説明書を利用し説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			現在の悩みはないか毎回の支援で確認をし、助言を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後実施を考えている状況で、保護者の方に集まってもらえるように、文章を配布している。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合、何について苦情があったのか保護者様の意見をお聞きし、何故起こったのか管理者・当人を含め確認を行っている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログを更新し、今月の活動や行事予定を発信している。

	⑤⑤	個人情報に十分注意しているか	○			必要ない情報をもらすことがないように、研修を実施している。
	⑤⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			わかりやすいように文章化し、配慮をしている。
	⑤⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後実施が出来るように検討中。
非常時等の対応	⑤⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時に重要説明書をお渡しし、詳しく説明を行い周知徹底している。
	⑤⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災訓練を月に1度実施している。
	⑤⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			どんな事が虐待になるのか研修を実施している。
	⑤⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行う場合、保護者の同意を必ず頂き、できるだけそのような場面を作らないように支援にあたっている。
	⑤⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要がない食事をさせないように配慮している。
	⑤⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを心掛け、小さなことでも大きな事につながることを忘れずに事業所にて共通理解を図っている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 1月 19日

事業所名 新越谷校 保護者等数（児童数）43 回収数 28 割合 65 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	8		・カリキュラム的に問題がないスペースである。勉強スペースは確保されているが、運動スペースは不十分に感じる。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	9		人数が入れば、受け入れ人数が増えるのではないかと期待をしている。 どの方がどの専門かわからない。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	11	3	必要とする気がしない。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	28			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	21	6	1	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	9	12	それを期待する場ではない。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	3		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	2		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	9		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	4	10	平日の参加が困難なため、実施の案内はあるがさんかしていない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	11		個別指導がメインの為、判断つきません。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	4		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	6		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	3		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	7	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	7	4	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	24	2	2	日によって気分よって変化がある。 ・学校でわからないことをしっかり聞けるので、「よくわかる。楽しい。」と言っています。 ・とても楽しみにしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	25	3		・利用日変更に対して、いつもしっかり対応して下さっていて助かります。 ・個人に対応してもらえるので良いです。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。